

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●浜中俊騎手がJRA通算900勝を達成

2月4日(日)の1回東京4日・第12レースではシャンデリアハウスが1着となり、同馬に騎乗した浜中俊騎手(栗東・フリー)は、史上40人目、現役では18人目となるJRA通算900勝(8161戦目)を達成しました。

### ●タガノアザガル、ゴーイングパワーの競走馬登録抹消

2015年中日スポーツ賞ファルコンS(GⅢ)の勝ち馬タガノアザガル(牡6歳/栗東・千田輝彦厩舎)は、2月2日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は29戦3勝で、今後はJRA馬車公苑で乗馬となる予定です。2011年兵庫ジュニアグランプリ(園田・JpnⅡ)の勝ち馬ゴーイングパワー(牡9歳/栗東・岩元市三厩舎)は、2月3日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績54戦4勝・地方3戦1勝で、今後は滋賀県甲賀市の水口乗馬クラブで乗馬となる予定です。

### ●2017年度ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

国際ハンデキャッパー会議において決定した『2017年度ロンジンワールドベストレースホースランキング』がIFHA(国際競馬統括機関連盟)から発表され(単位はポンド/115ポンド以上の334頭が掲載)、ドバイワールドCなどを勝ったアロゲート(134)が2年連続でワールドチャンピオンに輝きました。日本調教馬はキタサンブラック(124)の第9位タイを筆頭に43頭が掲載。これはアメリカ(71頭)、オーストラリア(55頭)、イギリス(48頭)に次ぐもので、2015年と並ぶ過去最多タイの頭数となっています。

### ●2017年度JPNサラブレッドランキング発表

JRAハンデキャッパーとNARレーティング担当者の協議により決定した『2017年度JPNサラブレッドランキング』が発表されました(単位はポンド)。各部門の首位は、2歳がダノンプレミアム(117)で牝馬ではラッキーライラック(111)、3歳・芝がレイデオロ(121)で牝馬ではソウルスターリング(115)、3歳・ダートがエピカリス(113)で牝馬ではクイーンマンボ(107)、4歳以上・芝がキタサンブラック(124)で牝馬ではヴィブロス(117)、4歳以上・ダートがコパノリッキー(118)で牝馬ではホワイトフーガ(110)となっています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ルールソヴァールが佐賀記念(佐賀)で人気に応え重賞初制覇

佐賀記念(JpnⅢ、2月6日、佐賀、2000<sup>円</sup>)は、中団から早めに進出した1番人気のルールソヴァール(幸英明騎手、騾6歳、父フレンチデピュティ)が、4コーナー手前で先頭に立って4馬身差で楽勝。2番人気のトップディーヴォが2着、3番人気のマイネルバサラが3着に入り、クリノスターオーは9着、逃げたコパノチャーリーは10着でした。

### ●ニューイヤーズC(浦和)はヤマノファイト【各地の主要3歳重賞】

ニューイヤーズC(1月10日、浦和、1600<sup>円</sup>)は、これが北海道から船橋への移籍緒戦だった3番人気のヤマノファイト(牡、父エスポールシチー)が、3～4番手から向正面半ば過ぎに先頭に立って4馬身差で楽勝、重賞3勝目をあげました。単勝1.5倍で断然人気のハセノパイロは、いいところなく6着でした。花吹雪賞(1月14日、佐賀、1800<sup>円</sup>、牝馬)は、2番手から向正面半ばで先頭に立った7番人気の北海道からの移籍馬ローザブルー(父サウスヴィグラス)が、後続の追撃をハナ差凌いでいます。新春ベガサスC(1月16日、名古屋、1600<sup>円</sup>)は、先手を取ったサムライドライブ(牝、父シニスターミニスター)が後続を5馬身引き離し、単勝1.4倍の支持に依って重賞3連勝、デビュー以来の連勝を6に伸ばしました。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●凱旋門賞をトレヴで連覇したヘッドマーレック調教師が引退

2013、14年のG1凱旋門賞を連覇したことで知られるフランスのクリスティアーヌ・ヘッドマーレック調教師(69歳)が2月1日をもって引退しました。ヘッドマーレック調教師は、ヌッチョ、セントクレスピ、イヴァンジカ、ゴールドリバーで凱旋門賞を4度制したアレックの娘で、仏チャンピオンジョッキー6回に加え、ボンモー、サンサン、イヴァンジカ、スリートロイカスで騎手として凱旋門賞4勝を誇るフレディ(現調教師)の妹。1978年に自らの厩舎を開くと、その翌年には女性調教師として初めて凱旋門賞に優勝(勝ち馬スリートロイカス)。ベーリングでG1仏ダービーを制した86年には仏チャンピオントレーナーにも輝きました。

### ●首G2アルラシディヤ〜ベンバトルが重賞連勝

2月1日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたG2アルラシディヤ(芝1800<sup>円</sup>)をゴドルフィン所有馬ベンバトル(牡4歳、父ドバウイ)が中団待機から直線で楽々と差し切って3馬身 $\frac{3}{4}$ 差で快勝。同じくドバイで1月11日に行われたG3シングスピールS(芝1800<sup>円</sup>)に続く重賞連勝として、3月31日のG1ドバイターフ(芝1800<sup>円</sup>)の有力候補に浮上しました。母のナーレインはG1オペラ賞の勝ち馬です。